

| | | | |
|--|---|---------|-------|
| 年度 2007 学期 後期 | 曜日・校時 木 1 | 必修選択 必修 | 単位数 1 |
| 授業科目/(英語名) | 総合英語 II Comprehensive English II | | |
| 対象年次 1年次 | 講義形態 演習 | 教室 | |
| 対象学生(クラス等) D16・17 | 科目分類 外国語科目(英語) | | |
| 担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 上村俊彦 / Eメールアドレス: yandi@sun.ac.jp / 研究室: 非常勤講師控室(シーボルト大学 W504) /オフィスアワー: 10:20 ~ 10:30 | | | |
| 担当教員(オムニバス科目等) | | | |
| <p>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</p> <p>授業のねらい: オーセンティックな英語(英語母語話者による英文テキスト、ナチュラルスピードで録音された音声教材)を用いて、英語の4技能(読み、聞き、書き、話す)の習熟のためのトレーニングを行う。</p> <p>授業方法: 英文テキスト概要の把握や内容理解をするための Scanning や Skimming、英語による発信語彙の習得のための vocabulary building、英文テキストの listening、テキスト内容についての英語による Question and Answer などを中心に授業を進める。</p> <p>授業到達目標: 大学生、社会人として必要とされる英語の基礎力を習得する。センテンス・ベースの訳読重視を改め、パラグラフの構造、テキストの情報構造(旧情報と新情報)などに習熟し、テキスト全体の要旨を理解する英語の理解力を習得する。</p> <p>英語能力試験(IELTS) Band 5 Band 6 に対応できる、英語の4技能の習得をめざす。</p> | | | |
| <p>授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</p> <p>授業内容(概要)</p> <p>テキストは IELTS 対策教材。4技能のうち、テキスト構成に準拠したポイント学習をおこなう。 毎回、前回の学習内容を中心としたディクテーションまたはライティングを Quiz として実施予定。 必要に応じて、プリント教材(映画批評や新刊書レビューなどの英文)を教材として学習する。</p> <p>第1回 オリエンテーション 第2回 Unit 1 Take a break 第3回 Unit 2 What's on the menu? 第4回 Unit 3 On the road 第5回 Unit 4 All at sea 第6回 Unit 5 Come rain or shine 第7回 Unit 6 Value for money 第8回 中間試験(回数は、進度により変更の場合あり) 第9回 Unit 7 Ignorance is bliss 第10回 Unit 8 Fit as a fiddle 第11回 Unit 9 The driving force 第12回 Unit 10 The silver screen 第13回 Unit 11 The written word 第14回 Unit 12 Down to Earth 第15回 定期試験</p> | | | |
| キーワード | IELTS | | |
| 教科書・教材・参考書 | Jakenman, V & McDowell, C. 2004 <i>Step Up to IELTS</i> Cambridge University Press (その他、必要に応じて教材プリントを配布予定) | | |
| 成績評価の方法・基準等 | 中間試験 40% 期末試験 40% 課題レポート 10% リスニング試験 10% (所定の出席回数を上回った学生のみを評価の対象とする) | | |
| 受講要件(履修条件) | テキスト音声教材を録音した CD を配布予定(媒体実費程度の負担が必要) | | |
| 本科目の位置づけ/学習・教育目標 | | | |
| 備考(準備学習等) | 英語辞書(電子辞書も可)を、毎回持参すること。 | | |